

# Next generation インタビュー 地域を元気にする U-30世代へのインタビュー。

てをつなGo

# てをつなGo

2021.Spring vol.128

発行・編集：高知県ボランティア・NPOセンター  
〒780-8557 高知市朝倉375-1 高知県立くし交流プラザ4F 高知県社会福祉協議会内  
Tel:088-850-9100 Fax:088-844-3852 E-mail:kvnpo@pipikochi.or.jp

## CONTENTS

### Awesome NPO 学生による注目プロジェクト

高知工科大学学生団体 CUBE  
高知県立大学 かんきもん  
学生空間 One step

『高校生の力で商店街を盛りあげる』  
太平洋学園高等学校

Next generation  
土佐女子中学高等学校生徒会の皆さん



今回のNextGenerationインタビューでは、土佐女子中学高等学校の生徒会の皆さんを紹介いたします。

土佐女子中学高等学校の生徒会では、卒業生の1人が盲導犬等の支援を行っている日本サービスドッグ協会に所属をしているつながりから、盲導犬の支援をしてきた人へのお礼の品となる折り紙づくりや、プルタブを換金して車イスへの交換や新型コロナウイルス対策費にあてられる寄付活動を実施しています。

土佐女子  
中学高等学校  
生徒会

山中 千聖さん

寺石ゆずなさん

藤井 里帆さん

伊藤 希海さん



●趣味や特技を教えてください。  
ギターや宝塚鑑賞。理科と体育が好きです！

山中千聖さん

### ●活動のやりがいとは？

先輩から引き継いだボランティアで、段取りや実際に折る活動は大変だったけど、完成したときの達成感があります。喜んでもらえたら嬉しいです。



●将来の夢はありますか？  
まだ全然決まっていないんですけど、自分の好きなことを仕事にできるように頑張りたいです。

寺石ゆずなさん

### ●活動のやりがいとは？

周りの友達に頑張っているねと言われることが嬉しい。それが励みになっています。



●今ハマっていることはありますか？  
メイク動画を見ることにはまっています。YouTubeやInstagramなどをずっと見えています。

藤井里帆さん

### ●活動のやりがいとは？

自分の知らない人たちの助けになっていることが嬉しいです。普段なら届かないところの人たちに感謝の気持ちを伝えられる嬉しさを感じています。



●部活動はしていますか？  
音楽鑑賞やギター演奏が好きで、軽音部に所属しています。

伊藤希海さん

### ●活動のやりがいとは？

小学校のころに視覚障害の方や盲導犬とふれあったことがあり、その人たちの支援をすることができていることがうれしいです。



お知らせ  
てをつなGoは今号で最終回になります。  
詳しくは中面をご覧ください！

# 高校生の力で商店街を盛り上げる！

## 太平洋学園高等学校



溝淵遥さん 立仙悠衣さん 伊藤創平先生

太平洋学園高等学校では、社会福祉基礎という授業の一環で、愛宕商店街でフィールドワークを実施。地区の運動会への参加や、商店街の方への聞き取り調査などを行い、交流を深めています。

昨年には、愛宕商店街の魅力を詰め込んだ愛宕商店街MAPを作成！ボランティア活動にも積極的に取り組む太平洋学園高等学校の皆さんに愛宕商店街への想いを語っていただきました!!

ここがウワサの  
あたごまち!!



授業を担当する伊藤先生は、「生徒にとって愛宕商店街での活動は、普段見られない地域に根差したライフスタイル、生き方を生徒に感じてもらえるいい機会だと思っている」といいます。

今回お話を聞いた2人の学生も、地域の人は優しくてあたたかい、とても行きやすく町の雰囲気を実感できるいいところだと口をそろえます。

### 私たちが感じる

## 愛宕商店街のいいところ♡



商店街の方も高校生を暖かく迎え入れています。

オシャレすぎず  
誰でも入れる  
雰囲気が好き!



昔ながらの  
雰囲気

馬馴染  
やすい!

地域に住んで  
いる人たちの欲しい  
ものがちゃんと  
そろっています!



太平洋学園の  
生徒さんが作成した  
愛宕商店街MAP

### コロナが明けたら...

## こんなコトも頑張りたい!

商店街への想いがたっぷりの皆さん。コロナウイルスの感染が落ち着いたらチャレンジしたいことを聞いてみました。

愛宕商店街で夏祭りをしたい! 商店街の魅力を生徒で発信してたくさんの人に知ってもらいたい!

さらには...

高校生が得意なことを持ち寄って披露したり、気軽に立ち寄ってコーヒーが飲めたりするような場所を商店街で出店したい!!

などなど、若い力で商店街を盛り上げるためのアイデアがたくさんひろがっています!

# ワカモノの力で地域を元気に!

てをつなGOの大きなテーマである「ワカモノ×地域×NPO」。今号では、県内で活躍する高校生、大学生に加え、学生と地域、学生と企業を繋ぐ活動を紹介します。

## 高知工科大学 学生団体 CUBE

高知工科大学のサークルである「学生団体CUBE」は2016年に設立。モノとモノ、人と人の間にCUBEが入ることで色々なつながりやカタチができて欲しいとの願いを込めてつけられた名前だそうです。これまで、永国寺キャンパスの芝生スペースを利用したマルシェの開催、ビジネスコンテストへの参加、婚活イベント実施など多岐に渡る活躍を見せています!



2019年5月には永国寺キャンパス内で永国寺マルシェを開催。キャンパスの改装に伴い新たにできた芝生スペースを利用したイベントを学校が募集をしていたところに、マルシェをやってみよう!との思いつきで企画しました。

開催までの間、たくさんのはじめての挑戦に苦労しながらメンバーで協力をしてきました。当日は、飲食店をはじめハンドメイド雑貨やステージ発表、体験ブースなど様々な店舗が並び、会場は大賑わい。たくさんの苦労を重ねての大成功だからこそ、メンバーの中でも大きな思い出のひとつになっています。

CUBEのメンバーは県内で実施されているビジネスプランコンテストにも挑戦。学生にとっては不慣れなビジネス。コンテスト挑戦の過程でしんどいな...と感じることもたくさんあるそうです。そんなときでも先輩や仲間の言葉を支えに挑戦を繰り返しているそうです。

平成30年度と同コンテストでは、竹内さんと西笛さんは最優秀賞を受賞しました!



### 1×1が10にでも100にでもなる団体

CUBEの特徴は、活動形態や目的目標が決まっていないということ。誰かの「やりたい」「やってみよう」に対してこの指とまれ方式で取り組むメンバーが集まっていくスタイルで活動しています。誰かから「やってください」を言われることがない自分発信の活動で半分自由、半分自己責任の中での活動にメンバー一人ひとりがやりがいを感じています。「やりたい」と「やりたい」が掛け合わさった活動をするときの爆発力が大きく、学生らしいクリエイティブな活動を生み出していきます。

SNSをチエックしてみよう!

Instagram  
@rubisco.marche  
Twitter  
@kut\_cube\_4649



西笛由夏さん 竹内嘉菜さん 杉山大樹さん

これまで、たくさんの活動に取り組んできているCUBEの皆さんですが、今後は婚活イベントの成功や他団体との連携などたくさんのことに取り組んでいきたいそう。マルシェに続く新しいイベントも絶賛妄想中だそうで、CUBEのこれからの活躍に期待大です!!

## 高知県立大学 かんきもん

### 地域で活動するやりがい

かんきもんの取り組みは、地域に出での活動が基本。たくさんの人とのふれあいから活動が始まっています。

県外からの進学も多い高知県立大学の学生ですが、高知市内だけではできないたくさんのことを経験できているといいます。実際に地域に出た際、地域の食材を使った料理をふるまってくれたり、優しく声をかけてくれたり、とても温かく迎えてくださるそう。地域の方たちとお話し、つながっている時間にたくさんのことを経験することを通じて、学生が地域に入ることの意味を実感するそうです。

#### 援農



安芸市や四万十市で農業を教してもらいながら地域と一緒に活動。活動の中で、地域の課題に対して学生らしいアイデアを提案していきます。

女性と子どもの福祉の向上をめざした活動。主な活動としては子ども食堂のサポート。国際ソロプチミスト高知さんの協力を得ながらDV等の啓発活動も実施しています。

#### タウンモビリティ



高知市中心部で高齢者や障害者の買い物や移動のサポート、NPO法人が実施しているサロン活動のお手伝いなどを実施。そのほかにも学生ならではの発想で季節のイベントなどを企画しています。

### 地域に出れないもどかしさ

現在は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、なかなか地域に出られないもどかしい時間が続いています。そんな中でもメンバー同士で連絡を取り合い、地域への新しい提案やボランティアのための勉強会を開いたりすることで活動へのモチベーションを保っています。

また、新型コロナウイルスが流行する以前、地域の方を対象に学生にやってもらいたいこと等を聞き取るためのアンケートを実施していましたが、まだ活動の実施には至っていません。地域のニーズに応えていくためにも、かんきもんのメンバーは日々取り組みを進めています。

### これからのかんきもん

これからはSNSを活用した地域活動のPRや、部門間が連携した交流の場づくり、学生一人ひとりにとっての地域活動を見つけるための取り組みなど、やりたいことがたくさん。

コロナ禍の苦しい時間をぐとこらえ、かんきもんは大きくステップアップしていきます!!



小松可歩さん 齋藤祐実さん 山下留奈さん

## 学生空間 One step

場所/高知市朝倉横町1-34  
TEL/088-855-9995  
営業時間/13:00-20:00 (平日)  
※運営時間短縮中  
各種SNSやっています



### 高知の中小企業と学生をマッチングする場

高知市朝倉にあり、高知大学から歩いて5分くらいという近い場所にあります。名前の通り「学生空間」となっており、学生専用のカフェで、登録を行うことで、自由に使うことができる場所です。Wi-Fiも完備され、無料の飲み物やコピー機も使用することができます。すべて無料だと心配になるかもしれませんが、スポンサー企業の支援で、学生のみならずには無料で過ごしていただけます。

1人で過ごすことも、何かのミーティングで使うこともできます。私たちがお伺いした時も、数名の学生さんが集まり、企画会をしていました。

その他、定期的に社会人との交流会を開催していて、就活などにも非常に役立っています。業種別の勉強会なども随時開催しています。

### 学生の関わり方

- 学生主体で情報発信をしている「ワンステップ編集部」。インスタグラムで発信を行ったり、編集委員として高知のまちの情報誌である「ほっとこうち」で記事を作っています。
- 学生団体Destinyが、One stepの運営スタッフとして活動しています。店内の過ごし方など教えてください。



学生スタッフ 高知大学地域協働学部 窪田さん

- One stepのいいところは?
- ・ 学生の意見を聞いてくれるところです。
- ・ 学生と企業をつなぐ場になっていて、学生の立場で考えてもらいたいと思っています。
- ・ せっかくのこの場をみんなに知ってほしいです。



スタッフ 濱崎さん ●●● One stepについて

学生のみならず、日常的にいろいろな話を聞くことができ、利用していただけるような場になりたいと思っています。最終的には、高知で就職してくださる学生さんが増えるといいですね。高知の良さを知ってもらい、残ってもらいきっかけになったらいいと思っています。そのためにも気軽に社会人の方と話す場を作ったり、高知のことが好きになるような取り組みを行いたい。地域で活躍する若者を増やして、高知の発展につながると思っています。

### Information 「てをつなGo」のかたちが変わります

2018年から今のかたちで発行してきた、高知NPO活動応援紙「てをつなGo」ですが、今回の号を持ちまして、大きく変化することになりました。この形は一旦終了し、新たに高知県社会福祉協議会の広報誌で、ボランティア・NPOに関する情報を発信していきます。県協の広報誌とともに、ピッピネットでもNPOに関する広報を充実させていきたいと思っていますので、ピッピネットにもご期待ください。



ピッピネット QR ↓